

【施策2】がん検診ポスターコンテスト受賞作品の波及効果

(その1)熊本県上天草市の住民健診の案内用封筒

普及啓発部会の活動の一環として実施した、がん検診啓発ポスターコンテストの受賞作品が、熊本県上天草市の住民健診の案内用封筒に掲載され、がん検診受診率向上の一端を担うことになった。

上天草市民には、平成25年度配布される予定である。



(その2)牛乳パックを利用したがん検診啓発

一般県民へ広く周知するために、がん検診啓発ポスターコンテストの受賞作品が、(株)宮平乳業の協力を得て牛乳パックに掲載し、がん検診受診率向上を訴えた。平成25年2月より、量販店などの店頭に並び、販売されている。



平成 24 年度 第 6 回 南風原小学校 PTA 文化教養講演会

概要

開催日時 : 平成 25 年 2 月 17 日 (日) 13 : 00 ~ 15 : 30

テーマ : 「がん」をもっと知ろう～二人に一人が・・・！？
知っているようで知らないがん

講師 : 増田 昌人 氏
(琉球大学医学部附属病院がんセンター長・診療教授)

主催 : 沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会
共催 : 南風原小学校 PTA 文化教養委員会
琉球大学医学部附属病院がんセンター

場所 : 南風原小学校 体育館

参加者数 : 15 人

講演会参加者

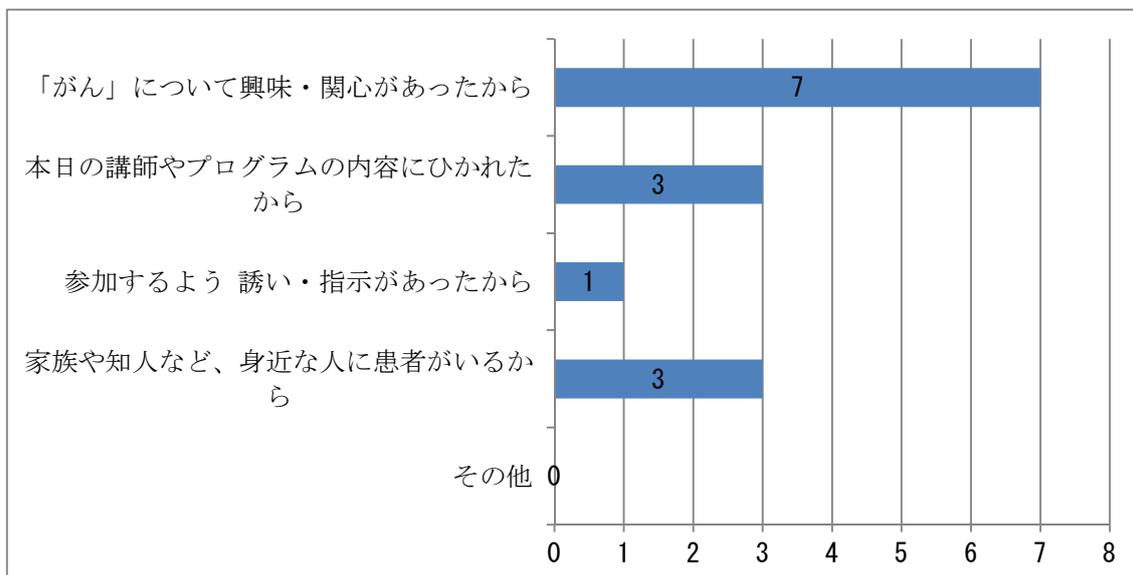
がん診療機能別	人数
南風原小学校教職員	2 人
南風原幼稚園・小学校	11 人
南星中学校 PTA	1 人
町内の地域の方	1 人
合計	15 人

研修会の様子



研修会アンケート結果（回答者 9名）

Q 1. 本日の講演会に参加された動機について教えてください。（複数回答可）



Q 2. 講演時間は、いかがでしたか。

・9人中6人の方がちょうどよかったとの回答であった。（3人は、無回答）

Q 3. 演者の話し方・説明の仕方はいかがでしたか。

・9人中7人の方が大変わかりやすかった、2人の方がわかりやすかったとの回答であった。

Q 4. 本日の講演会は参考になりましたか？

・9人中7人の方が大変参考になった、2人の方が参考になったとの回答であった。

Q 5. 本日お配りした資料は、あなたの役に立つと思いますか？

・{患者必携がんサポートハンドブック第2版}、{がん冊子：身近な人ががんになったら}、{自分で守ろう。自分の体}、{ワクチンで子宮けいがんを予防しよう}の3種類の資料について質問したが、9人中8人の方が役に立つと思う、とても役に立つと思うとの回答であった。

Q 6. 本日の講演会に関するご意見ご感想をお聞かせ下さい。

- ・良かった。
- ・非常に勉強になりました。
- ・先生の話がわかりやすくて勉強になりました。がんという病気は、身近にあってイメージしていたものと全然違って驚く事ばかりでした。考えが変わりました!!
もう一度やってほしいです。ありがとうございました。
- ・身近に若い人で「がん」という方がいないこともあって、これまで関心がなかったが、今日の講話を聞いて、もっと身近に考えようと思いました。

- ・大変よかったです。学校の先生などに（保健の先生）……。もっと人がいればよかったのですが！
- ・特に女性・子宮頸がんに関して勉強になりました。
- ・参加者が少ないのがとても残念。中学生・高校生から学ぶ必要があると感じました。保育園や幼稚園の保護者にも是非聴いてほしい。
- ・もっと多くの方に聞いていただくように工夫（周知等）すべき。娘が3人いるので、子宮頸がんの話をしように思う。

Q7. 今後、講演会で取り上げてほしいテーマがあれば教えてください

- ・病気になる前に、事故判断など。予防など。

所感

講演時間は60分であったが、増田先生を囲んでの座談会では、予定の30分を大幅に超える75分もの長時間に渡り話が弾んだ。以下、座談会の参加者からの質問。

- ・サプリメントに効果があるのですか？
- ・抗がん剤で体調が悪くなったのはなぜですか？抗がん剤にどんな効果はありますか？
- ・子宮けいがんワクチンは3回接種しないといけないのですか？
- ・子宮けいがんワクチンの接種より、まず子供に性教育をすべきですか？
- ・子宮けいがんワクチンの接種は、既婚者もした方がいいですか？
- ・がんが遺伝しやすい家系ってあるのですか？
- ・高校生の娘は、子宮けいがんワクチンを接種しているはずですよ。父親では、なかなかわからないですが。
- ・IPS細胞は、いつ頃がん治療に使われるようになりますか？3年後とか5年後でしょうか？

参加人数としては少ない結果となったが、参加者は日頃医師になかなか聞けないことをざっくばらんに質問でき、満足して帰られたと感じた。

PTA役員の方と後日日程調整し、6月5日（水）19:30より島尻地区PTA連合会での講演会の開催が決定した。次年度も、引き続き学校PTA向けの普及開発活動ができると期待している。

南風原小PTA

平成25年第131号

発行責任者

上原 明

発行

南風原小学校

PTA広報委員会

学級数25組

児童数706名

世帯数12,839名

平成24年4月 現在

<http://www1.town.haebaru.okinawa.jp/se-haeb/>

印刷：南ケンエス

平成25年3月21日(木) (4)

南風原小PTA

第131号

第6回文化教養講座

「2人に一人が…がんのことをもこと知ろう」

2月17日(日)に琉大付属病院がんセンター長の増田昌人先生を招いて開催された第6回文化教養講座「2人に一人が…がんのことをもこと知ろう」を聴講しました。

日本人は、一生のうちに2人に一人が、がんに罹るそうです。がんは、1981年から日本人の死亡原因の1位であり、死亡者の3割を占めます。もちろん沖縄県民も例外ではなく、100分に一人が、がんと診断され、3時間に一人が、がんで亡くなっています。

そんな恐ろしいがんですが、生活習慣の改善による予防、検診での早期発見、治療時のリハビリテーション、そしてインフォームドコンセント、セカンドオピニオンや正しい情報を得る事の大切さを学びました。

また、20代から30代にピークを迎える子宮頸がんについて、その原因や発症のリスクを確実に、一定



程度減らす事ができるワクチン接種についてのお話は、子供たちの近い将来に関わるだけに、非常に興味深いものでした。南風原町でも該当年齢対象者には、町から予防接種の通知表が送付されます。

一度、保健福祉課健康づくり班まで、お問い合わせ下さい。

今回の講座は、身近な疾患であるがんについて多くの事を学ぶ事ができた、素晴らしい内容でした。講演していただいた増田先生、また、企画・運営に奔走していただいた文化教養委員の皆さんに感謝します。

上原 明(6年保護者)

